

## 湘南なぎさ荘のこれからについて意見交換会

日時：2025年11月30日（日）午前10時30分から正午まで

会場：湘南なぎさ荘

説明会参加者：15名

市事務局：高齢者支援課、防災政策課、災害対策課、鵠沼市民センター

資料：「湘南なぎさ荘のこれからについて 意見交換会」（別紙）

### 【議事概要】

◇事務局（高齢者支援課）

資料に基づいて説明

### ○ご質問・ご意見 1

1.これまでの意見交換会での市民意見と市の対応状況を一覧できる資料を公開してほしい。議事録を全て確認するのは大変で、検討状況が分かりにくい。

2.湘南なぎさ荘の機能のうち、具体的にどれが移転対象なのか。「老人福祉センター機能」、「デイサービス機能」、「避難施設機能」のそれぞれについて教えてほしい。

3.湘南なぎさ荘の閉館で地域の防災力が低下することを懸念している。

①跡地は避難施設として残さないと決定したのか。

②近隣の避難施設「太陽の家」は、湘南なぎさ荘からの避難者も受け入れ可能か検証しているか。

③市の資料と「ふじさわ防災ナビ」で、指定緊急避難場所の災害種別が異なっているが、どちらが正しいか。

◇事務局（高齢者支援課・防災政策課・災害対策課）

1.ご意見として承る。過去の経緯を振り返り、一覧表の作成について形式を含めて検討します。

2.移転対象は次のとおりです。

#### ■老人福祉センター機能

集会ホール、学習室、電位治療器、健康相談機能、マッサージ施術室などを移転します。  
お風呂とプールは移転の対象外となります。

#### ■デイサービス機能

今後の扱いは現時点で未定です。

#### ■避難施設機能

建物の活用方針が未定のため、現状では明確にお答えできません。

なお、移転先の鵠沼市民センターは屋上への避難経路を設けるなど、防災機能を持たせた設計となっています。

### 3.防災機能については次のとおりです。

①建物の活用方針が未定のため、現状では明確にお答えできません。地域の防災力の観点から、避難施設として指定を継続したい意向はあります。

②災害状況により避難場所は変わるため、現時点での検証はしていません。なお、津波災害時、「太陽の家」は津波災害警戒区域内にあるため指定避難所としては開設されません。

③正しい記載は、最新版の「ふじさわ防災ナビ」です。

湘南なぎさ荘は「地震」、「火山現象」、「洪水・崖崩れ」、「高潮」の災害種別で指定されています。最新版の防災ナビ（第4版）は、市役所や市民センター等で配布しています。

### ○ご質問・ご意見2

お風呂の利用料金は回数券を購入すると1回約90円だが、八部公園に行くとなると400円かかる。なぎさ荘と同額とするなど、費用面について考えてほしい。

#### ◇事務局（高齢者支援課）

お風呂を継続しない理由の一つとして、入浴設備の運用に係るコストが高額であることがあげられるため、コスト面も踏まえたうえで、スポーツ施設等と相談していきます。

### ○ご質問・ご意見3

1.7月の津波警報時、湘南なぎさ荘は重要な避難拠点として機能した。しかし11月に実施された避難訓練では目標地点が遠すぎるなど、計画が実態に即していない。

2.新鵠沼市民センターの2階体育館の防音対策には多額の費用がかかるはず。湘南なぎさ荘を改修等し存続させる方が安上がりではないか。

3.前回指摘した市の計画推進における違法性の可能性について、弁護士に確認した結果を教えてほしい。市職員のスキル不足と考える。

#### ◇事務局（災害対策課・高齢者支援課）

1.特定の施設への集中避難は危険なため、分散避難が原則です。また、避難目標は、自治会・町内会で定めています。11月の避難訓練は各自が避難計画を再確認する場として有効だったと考えます。

2.体育館の騒音は費用と利用方法のバランスを考慮し検討します。現在の計画は、施設の現状や将来性を総合的に勘案した結果です。

3.弁護士への相談はしていません。市としては法に則って進めており、違法行為であるとの認識はありません。

### ○ご質問・ご意見4

市の計画とは別に、自分達の町内会では「時間がない場合は最寄りの高いビルへ垂直避難

する」ということを、回覧で周知する等、防災力の強化に努めている。

◇事務局（災害対策課）

町内会での取り組みご紹介いただきありがとうございます。

○ご質問・ご意見 5

1. 跡地利用が未定のまま計画が進むことに不安がある。旧辻堂市民センターが更地のまま維持費がかかっている例もある。湘南なぎさ荘の跡地利用の検討を早期に実施し、スケジュールを明確にしてほしい。
- 2.津波避難ビルに指定されているマンションについて、市が助成してオートロック解除システムを導入する等の検討はしたことがあるか。

◇事務局（高齢者支援課・災害対策課）

- 1.ご意見は関係部署で共有します。
- 2.遠隔でのオートロック解除は防犯上の課題があり、民間施設への導入は難しいのが現状です。緊急時はガラス等を破壊して入ってもらいます。市でお金は支払う協定を結んでいます。

○ご質問・ご意見 6

- 1.新鵠沼市民センターにおいて、湘南なぎさ荘の機能が1階に入ることだが、第1期工事で移転する訳ではないのか。
- 2.お風呂と異なり、運動浴槽（プール）は市内に代替施設がない。例えば鵠沼運動公園（八部公園）の浅いプールを改修して運動浴室にする予定などはないか。
- 3.市の計画への根本的な疑問: 市は「人口減少」を理由にするが、市の推計でも「2035年が人口ピーク」で高齢者人口は増える。高齢者福祉施設機能を縮小するのは、市の「健康寿命日本一」という目標に逆行するのではないか。

◇事務局（高齢者支援課）

- 1.工事は建物を垂直に分けて進めるため、湘南なぎさ荘の機能が入る棟は第2期工事となり、移転は予定どおり令和14年度の見込みです。
- 2.移転後は、鵠沼運動公園のプールをご利用いただく方向で考えていますが、運動浴室に改修できるか、持ち帰って相談の中に含めたいと思います。
- 3.高齢化が進む一方、老人福祉センターの利用者は伸び悩んでいる実態があります。将来の人口減少も見据え、施設を複合化することで、より多くの方にご利用いただけるようになると考えています。

以上